

農産FAX情報 第8号

令和6年9月1日
ゆとりみらい21推進協議会 指導部会 幕別町忠類地区

1 秋まき小麦（作付前の準備）

○心土破碎

- ・排水対策を行うことで、降雨によるは種作業の遅れや生育不良を軽減することができます。サブソイラ等で耕盤層を破碎し、土壌の通気性・排水性を確保しましょう。
- ・土壌水分が多い状態で施工すると土壌物理性の悪化をまねくことがあります。サブソイラ等の施工は土壌の状態を確認してから実施してください。

○土壌pHの矯正

- ・pH5.0以下の土壌で収量が落ちる傾向があります。石灰質資材を投入しましょう。
- ・生石灰・消石灰は種子に触れると障害を起こすことがあります。施用する際は、は種の1～2週間前に土壌と混和してください。

2 てんさい

○褐斑病の防除

- ・発生が徐々に拡大しております。9月以降も引き続き防除を実施しましょう。

○ヨトウガ・シロオビノメイガの防除

- ・若齢幼虫の発生が確認されております。ほ場観察を行い、防除を行いましょう。残効性の高い薬剤（マッチ乳剤、カスケード乳剤）を発生初期に散布することで、長期間の密度低減が期待できます。

3 豆類

○小豆における鱗翅目幼虫の防除

- ・莢を食害する鱗翅目幼虫の発生が確認されました。ほ場観察を行い、防除を検討しましょう。薬剤の選定は農協・普及センターにご相談ください。

○大豆におけるべと病・紫斑病・灰色かび病の防除

- ・8月中旬から日照時間が短く、湿度が高い日が続いています。べと病・紫斑病・灰色かび病は多湿条件で発生しやすいため、防除を検討しましょう。

表 ベと病・紫斑病・灰色かび病の防除例

薬剤名	系統名	希釈倍率 (倍)	べと病	紫斑病	灰色 かび病	使用回数 (以内)	使用時期 (収穫前)
ファンタジスタ 顆粒水和剤	QoI	2,000			○	3回	7日前
		3,000		○			
プライア水和剤	N-ファルカ-バ [®] メト ・MBC	1000		○	○	4回	14日前
プロポーズ顆粒水和剤	CAA ・コロントリル	1,000	○	○		2回	21日前